吏員退職給與施邑面長及び邑面

說社

第一、退職給與の種目

な時回回において立巻支給するこ

用しの承認主の國歌に称てすべき版数。この旅歌順に微歌工場文は治定工場との旅歌画に

事業主支給

のでないが、解望者は確に一つの

ある。「唯一は認用ができた人権の大力との任意を受配したいある。「唯一は認用ができた人権の大力との関係的に対しるべき、ことは、歴史生態能と対する最近である。」、この際になても認用や、正とかんの任意を受配したい

※に変称に取せる者がを減せればならぬが また、大概がであることを治域 また、大概がであることを治域 また、大概がであることを治域

では、一般であるかどうかどの認識を表現、「機能はは全人が認識を表の。」として、認識と対抗なない。。 数単令 る。 とれが、定するというとともをとします。 戦人をの はなどである とを第二 実践だれればなんだ。 数単令 る。 とれが、定するというととは変します。 戦人をの とれば、まするというととします。 戦人をの とれば、まするというとともをという。 第一条 戦力 はなどである とを第二 実践だれない たいかい こまさん とうこと はいっと はいました はいました ではない すな はいました はいまいまた はいまいまいまた はいました はいました はいました はいまいまた はいまり はいまいまた はいまり はいまいまた はいまり はいまいまた はいました はいました はいまり はいました はいました はいました はいました はいまり はいまり はいまり

な措質がとられてすらよいと りは考へる。その意味で、

他府定例參集「學問

石は現在の各道地方互助會を興施設度施安納を強表した

在曾年と種す子七年

達するまでこれが支給を停止す

在戦會員への措

挟助劉、死亡治與金を支給せしめ

現定したもので、湖南地

親じたる金額とすること 平均報酬月額に
定曹年の年敷を 平均報酬月額に
で曹年の年敷を

給與等を擴充

邑面職員へ優遇の道

名版前の後在島町に北文館滅伊は「畠町に滅母を下してこれを完美」「七名とこるに滅師・鹿児紀まで送く」兵力約百五十分滅々と崩滅し深い、憲光郎の氏能を持んて、途部撤入「建瀬助を終けてあるが、その部民「憲兵は中田少尉に手あられば遠十一脚を占領、権勢方面より称えたる

既にこの暗倒然なる際は言上の

高 手値戦をもって自爆能功を関で都 の にぶっき腕腕を繋を洗して出機。 の にぶっき腕腕を繋を洗して出機。

つた鬼神も哭く特別志願兵金本定信一等兵(平北宮川都深川面五峰洞九一五出身)の勇戦け惜しくも身に敵弾を浴び死力を整してのち逐に手檔弾をもつて自爆、肚烈靖國の華と散

り得けたのである。この武物こそはいま気意にあってひたすら兵争にいそしむは時一般別志城の選兵。関れて今年から精務量戦

北烈·手榴弾で自爆

一信定本金

学校のうらだら北海の部と回る場所 一定要は北海のカバイのや、横州 / 高海兵を木定省一等兵は山西省の が

の強した、部落に潜入するや、

射撃の名手

金米 | 等兵

兵等

したその武勳は逐次上申され〇〇部隊長から賞詞を授けられ、散つてなほ燦たる築譽を扇

不撓不屈倒れて後已む旺盛なる責任感に徹

敵チエツコ機關銃座を撃摧、友軍の危機を救ふとともに敵の重圍下になほも死闘猛攻を續

至高・軍人精神の精華

車耳

| 大日地が各等および攻府各級網の | 一次日地が各等および攻府各級網の | か 米迈加豫算大削減

友軍の急を救ふ

金本一等兵は狙撃手とめた。この時特別志願兵のた。この時特別志願兵

道割當等《決定

委勵獎蓄貯 會**咸**幹會員

東を決定、同三時間質、な伝表 より意見の具態があってのう原 より意見の具態があってのう原

五決定と同時に名道
十五日に閉艦、大人

万針に、新年度の駐車増配に對する

せん、自分は自緩いたします、

この時金本一等兵はこ て再び駆及は金本一等兵を決け

げた。医士一陸三分、愛

に参って來た、誤をのんで中田一手榴弾の安全栓をガツ

なきめぐり米克能図の資立は原図 来第=西語でおける石油資源の開

THE CONTRACT OF THE PROPERTY O

難や家質節の現法に對して『独市となつたが、さらに都合地の住宅

【丙】休日出動芸管は「国につき

米英石油會談開催

地で温暖し外

・1回につき一個

すべと傍にこれを置き一颗したのであった

とも笑人、同じ題の歌歌に敬を歌

につき次の通り 際に対し米延附

めるかは目下大陸省において特別なほこれ等の最高額を減らまで記

當。のこうが新たに許可になった

製造に新しては

「生産・地別学

宅を

队機關銃座目がけて

の 敵チエツコ機關銃射手 に さかの狂ひもなく見事 のチェッコ機關銃を叩 に駈け上り自分の身體 エツコ機關銃は一瞬に したまう殪れた このテエツコ機関館の選択と除

本・藤原は後世界が始ったと赤田・聖を育られ、金木・郷に深いて、一名の本・徳氏を改称されと中のとなる一・中田が郷は海東の勢くが表生、一名中田が、は、一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の お金本一等兵を改容さんと中田少の 質の死闘によって原は一時制度せ 後一時半から本所第四度機能で 1、昭和十九年時間著目を公定的機能を見き続きまけ入日午 明宵、剛才郎事とり

交站によれば米酸太平洋艦隊司令 交站によれば米酸太平洋艦隊司令 クラの新版記書観響員に突然祭を クラの新版記書観響目に突然祭を

他つて 会すく 政 耐されて 和 な 地位は 時の 経 つに

イルソン▲國務省石油顧問フォレスタル▲職時生商局

のロンドン放送の照へる所に上れば 南米コロンピマ共和國政府は七日 一般無限を顕行したといばれる

R. C.

內閣總辭職 白回門

ゴロンビヤ いったがン

イツキーズへ変

い表数質を任命

住宅地域に高生態緩戦を多数没下イエンゼ、トラステプエーレ等の

ローマ市に来降、低祭からオステ

「ペルリン七日同盟」ローマ來高

ローマ市住宅街盲爆

した、被害拡大の見込み

「ラバウル八日同盟」六日で前二 でユーアイルランド殿カビエンに職 はユーマイルランド殿カビエンに職 は 173四種が深郷・つが 所在部院はこれと変数した、 わが 方被派なし はその一種を翻述した、わが方掛一芸なし、一種を表現の一種が来源。わずが在部隊一芸なし |関漢軍水上標部原は六日夜間ブー| 大型魚雷艇擊破

歴史を指述、これに温麗を加へ大概なを指述、これに温麗を加いて欧州 些領電路一隻を解唆した、わが方

1 日の新聞記書記書見で次の如く豪 一部した

艇は含んでゐない、エセツクスなつた、勿論このうらには小膳

英軍陣地を强襲

保険は職员であり貯蓄である。

而國生命

一首の武士は、脚を切って死ぬ時にも除式を持ってるた。現代の武人はなに鳴って最後の突人はない。 現代の武人

東京独町四番町一六、林式伽体衛本部をや子供、老人も巻次簡単に使用出来る

*!

日就任接接の風楽社

器体健与於习法

な万病のもと!!

胃腸や身體が

メキメキ丈夫に

消息

マユ山脈西方で戦闘

攻撃を加へて夾之が、わが所在部タロア州にも侵種不明の十五種が これで歌舞ぶした。わが方

双發一機屠る

際所第十別生で治摩しかも活勝、

ではこれが

成績を示してゐた、家庭には長兄秀で、特に財脈は中除でも抜群の

東側=米國海野県電ブツクスは七 リスポン七日問盟】ワシントン

ノツクス豪語

米艦艇九百隻

に関する件を形令を以て八日公布

機密費規制を强化

資本金寸萬個以上の宮町(特別法)の駅舎の駅正により効をに同合の、

示 1

ってあられるかしといふ離離は成 を晒すかわからぬ、作法なんぞ云 とから 『天戦下だ、いつ空襲に身 省とは樹木的に避らところである 問題を飾った▲これが日本人的な

要領ありて多重の跡を使用するに好適 、監測・嫌型・散場式の各 、監測・機型・散場式の各 ・影響・に登測を見る。 ・影響・に登測を見る。 ・影響・に登測を見る。 ・影響・に登測を見る。 ・影響・に登測を見る。 ・影響・に登測を見る。 ・影響・に登測を見る。 ・影響・に登測を見る。 ・一般にいる。 ・一般にはいる。 ・一般には、 ・一般には、

き五十銭の

同じ日本人でありながら、武人にあるのを見だであらっ。ごれでは

がが出來ない▲際式が終って

質の

應召者等の昇給別格 日、まはヨー国と定められたので創出し、は定別が約の時期を定め主務大臣とことを与って創出して現場でも 昇給規定

定期昇給の限度は此員を入雪、

手當規定際令の定むる手管に新る手管に新る手管に新る手管に新る

題の勘合でより計

町郷代に一園ア中ツーをする時で

記しめた後、右の緩和規定を

は左記の金額を超えない範囲とおを加へたほかに各種手性について

名に於ておのれ自身に行ふべきも

胃腸病で悩む人の

全国一葉店にあり

し效果的の錠剤にしたのが三 なのである優性質解例でかた なのである優性質解例でかた 取成して下さい。 変視して下さい。 変視の錠剤にしたのが三 が成れているが、 変視の砂質剤にしたのが三 が、 のである優性質解例でかた。 を表して下さい。

は他に示すものでなく、日本人の方を換へれば、このぐだしなみ

器いは問題でない。留ひ

の計範をが続いして思能すると英語のでは、一般では、一般では、一般では、一切には、一切にない、一般をは、一切にない、一般的な、一般的ない。 機密費。然際路

数支給に関する規模、前の圏が立が一時間影する場合に非経主の応

本欧正の壁前に留り急激にこれを に耐次これを合連的水戦まで引下て各世間の不均衡を是正すると共

が、九日附官報をもつて欧

と共に同合設正施行場前で公布、

きに大味管よりその音子が破裂さ

一月の欧正でまつが治等が欧

一覧へることになったが、さらに今

は損貯金消襲および便宜代捐訴求



日一百圓迄 非常時預貯金代拂ひ限度引上

のの政治の関係の対象の関係の大学によって、 一次の表でなど、一次の表でなど、 一次の表でなど、 一次の表で、 一

・ 企園といったの形式に除いて財政が を担かと同時に、報送による関政に

にが歴化されることが温ましい。 鑑元といった初起的な報題も明確。 例へば生活物質の陰配、恐鹿物の経過にの経験は沙臓、物質弱炎

二百四、一ケ月五百回窓に引っての企業を一口

がのでは、表話的最内の名が他一派の金額は発來一口一日百回、

四月一日より施行するが、明約、一

窓地令 る。風功態の紅き経験形成、その怪の道。 壁も行はれ わばならぬ 道理であ

半島は四月施行

台級、柳太および閉洋静島は祭る

回一窓町を作って大波湾に提出窓町をおいまれる 院合せて居廃り手幣、宿町主営そ伴か削額時間の延延、休日返上等

でいたしてあるからで、歌と暗動であたしてあるからで、歌とに歌をは然を極めると同時に、 があり、これが観、世上別れてゐ 「だのくとは困難であらう人町歯 いさといる日だけに、斑魚の活動に行ひたい。それが出来ずして、 響形にでは、これほどしつかり

骨赋护金 北端へ骨の病の手を出し便子をこ 者に感ばれてるます。 初めての方へは、鉱井良太郎原

二丁自芸士三番地、鈴木コンパニ **着は、東京市小石川區小日向台町** 人一朋限り遊尾いたします。希望



ことが、て毎に定節ある感情がは、高度が であらゆる骨の病を更生させ質数科の概認者金沖良大部博士の繁養

· 整形外科金井良太郎博士述

農村の

翻とひるがへる、逐春とは言へ で出産、山木知等の数件で一路 と気候に難手の塊をした後うかっ一次的が、今日はて智慧線目 かと家の様に作られた線旁の別に一般通の影響には日の現の版が 立つて

する・

と対問と対問 間つてあるかネー

更生向上 **衛庭に作られた豚小屋の前に案内と館問すれば、伊藤氏は反野側の** N 留めればそこには七、八人の朝鮮 生、向上してゐるか。生してゐます。内地 | この外に水田などどの位作ってあるか』 | 「はい、水田は四町歩です、この外に補給」町歩、梨一町歩の との外に補給」町歩の との外に補給」町歩の との外に補給」の外に補給してあるする 生、向上してあるかり

窓を行うた後族と難の説を主とし、一答を行うた後族と難の説を主とし、 です。 です。 な深が指導してゐるのか。 『あれば何をしてゐるの』

の登場をの戦りへ

準れて後 お企本 等兵

を收めたので來る十三日から十七一成を行ふ

今や栗原門がなる戦場は野近に追り削減らが後も難けて島國四

湖足さらに逃ぜて見て

舌の

挺身隊歸

そこには『米の話山』

関し深々と耕された水田には芽を開めてうに声く縁を引き、一般的の に世祭、時には腰をからめて作業 別着住宅や、精松場など具さいを入り、 選盟場を見て建設中

する、砂頓を浴ぎ、小石をはね形はこの点江平野を縋つて一路落画 目指して歌響する、料一時間半後はしてひを貼りに走り一路北方を 佐はしこの日の金石林堂に自七十キ世に中、時楽四十五キロが金六十キロという時楽四十五キロが金六十キロという時代は、沙場行 山を後に、温陽へ向け自動車を飛

『時に登録管理をよくやつて大一『時に登録管理をよくやつて大



屋で遊り三中井と各百谷店

、 哲場に 盛られた

の八早まが、震 軍展留場に大部華城日 明他中の本社主従大陸

によって級悪を設ける大場和金が

华馬質易識に大きな足跡を印し

ます。本院経典は平に浄海東が緑後岡田の賦念を指揮し、暇方が理に過すべく、終戦を振うた観光・不能経典は平に迎るるに感し、本軸は左の東郷で『決論整機を観り』を開催し続き、本語は左の東郷で『決論整機を観り』を開催し

習易協會解散總會

整へ府内四大百貨同と 十日の陸軍記念日を

関・大陸、中央は石のやうな造 である

映畫館の非常措置

質問與行の領域、脳等の自然が底 を押し減低性認識で表定しを感 他により、東端では往来の話目二一億 他により、東端では往来の話目二一億 で一部に上原類行すること、たり、 を一部に上原類行すること、たり、

野上の強田一回販行は十六日から 海殿物は時に張聞 同上映を含せ

場利を位来の通り九十銭(程十二人としたなつた

先づ和信の軍人動輸展から了手 報道部川崎大佐らを断へて訪れ

関して生態指導者間からなる特別 「同じ然々たる腹部を舌臓じむし、 「月八日からの決威震戦闘別間に呼 | 無疾の不調などを荒滅して経戦を 「最初の治人清々に説明した去る」」 | 軽減の治人さる底域して経戦を 十三日解散式と報告座談會 刀朝鮮微盟では解散式及び報告座 時四十分全員朝鮮神宮に参拝率

入場者は必ず献

皆をなし、整質能で消染を築約 とたのち、隊伍を組んで返信事 業質値に行進、同二時半から同

本部長の挨拶、來質誤解、ついで

立一直八号 **告**望

あ 爆日沿

横を撃て で 20 410 と 弾 片 こユース

日の八日午後、展から組合事が所 にや深趣合長り下的が更異素り、 について最適度認の認定、金組合 自に版を報じて金三原因を20 自に版を報じて金三原因を20 自に版を報じて金三原因を20

することを明合せた の功績者

總聯で三氏表彰

スに関系製造

第二人27日元名 第二人27日元名 第二人27日元名 第二人27日元名

場劇。日京場劇一第場劇座大

公海

四署

催、田中曾長の挨拶の後

體イオ

場劇央中

本式會加了由十一番四 林式會加了由十一番四 林式會加了由十一番四 大型和加工人類也可以 在開算人 图里著 "

城

(人) は、 (光社文化総置次込所に記しコード次込で辿す

> 泉 攢

表際 出口商 銀獵 山口商

會

_て_片ス 劇

座日朝 劇 若 座治明 館樂喜

あ 爆日費 のの旗を撃て一般風と弾片の本ニユースを

戦人特別記談天全大臣信一等兵の 戦大を訪れると、自主の長兄塚太 の出ていう組織、母、二人の弟登 の出ていう組織、母、二人の弟登

の一数を早く整行機を削減くと純信 オツト記量に特定版準に切逸と述る。 オツト記量に特定版準に切逸と述る。

在委員長とする報査委員部を明さ

殿がお遊を終て、明日入選作品

無上の榮光に威泣

成所を保証された主張 「然の見去」、同成日東社至高地と、 世に来るさびしく頻繁、報道地長、郷鉄村御景殿長、郷民 である。 「大朝 「然の見去」、同成日東社至高地と 「大・御川弘の」、大朝 「然の見去」、同成日東社至高地と 「の成立の前と方に、」果。 関わの関係が可含は、「明報は「

ゆ(同島正ご・鄭道(松崎雲野) ・出腹命令(原岡関一郎)

を四六和川融▲第二府(京日社 を四六和川融▲第二府(京日社 を記ったの語、第二府(京日社

○金本韓國(三人) 東韓湖和川間 內質加海県県地湾(三人) 東 第100 (一人) 八架(東海) 東 「日人) 八架(東海) (一人) 全域 東 「日人) 一級 東部 (四日) 四四 四种 東縣 東城的第四 | 二九八 國 本 第四章 東城市(四日) 二九八 國 村別與(三) 社 至

後 主

援

朝國朝朝京 解 城 美力督軍 日

術朝府報

會盟課部社

家鮮情 協聯報道報 ◆贈々(李袞昭) √初師々(五 ◆第一部 / 訓練々(今田殿一郎)

茂雄(14)▲京城孔傳町一七五岸山助(14)▲京城孔傳町一七五岸山京城名信町三三九ノ三三端川勝

覽料

一般一干錢

なほ名都登委員の出品作品は次の

るなは戦容中の負易者氏名は左の

會

操けるのである。従うて、京られる映画の感謝を昆虫消兵

ふ削減、銃後の縫鱗であります。

會期一二月十日より廿四日まで(早晩屋

翠姿殿)

配合軍の政党を行 場…總督府美術館(学品融門內)

繪

是20 一父の英觀之野心! 京城 應文性[結婚] 學兵進發 (李國 (華) 職友 (聖圭紹) 玉幹 (左仲 三乘)

樂えある特選も決る

學友學つて

翼へ百五圓献金

| 作品は七日、長屋に製造削近を設置の窓が展開電 初の学えある入選 | のの学えある入選

産を誓つて長兄鐵太郎氏談

けてせつせと願いてゐを、概太即増配の赤跛燃える陸事に一家を摩

い責任概念

百世名の形皮よりの解出金百五回 を八日稍見収齢が持条不配を防れ 施行機塞追邸金として眺金万を寄 一

物を開き、人選作品第一部世跡、第

事故女人日景域の部心で振起した。歴かんか生態間合て感問感应を動きな人日景域の部心で振起した。歴かんか生態間合て感問の吹唱を

は関係的一層として金融をのそい。

を出すこともなかつたのだ。かく

飛機献納に力

心中合せ

奉戴日に

カと写版に顕って現場の如く走り、あスペークに掛おむの、全職場をて、とる観覧もともず諷瞰部から、きもので、時間で称へさせられるて、とる観覧もともず諷瞰部から、きもので、時間で称へさせられる「映火を吐いを大 インに視覚に帰げるもっぱだし

缺けた。 常在戰場。 の心

府氏よ科學心はいつも持て

お勿論であるが、一方派客に科

地をもち、黄海道信川部加山首に地をもち、黄海道信川部加山首に 鮮する微定である

一百一覧について最後的審査の結

故金本一等兵を語る森本教授

家門の要養これに過ぎるものは 社会の必要なん。今回現が即後長よ と原放してある次報です。おれ は生衆定数ごうこが好き起うた。 が半島に高額長期の光泉が解え、

築地

君

、暑れの總督賞

綴方競作の入賞者表彰式

理質組織等での機能 脳帯があ を閉せた。それか「個は金銭内 り範囲がは一向を代表して、一年 を最級、原手に「はいの後島・脚 年とは場ばれぬ原々しく順度で である。 一般子立派な親いの過程となり とこばいの後びを現くて、社会に

時半戦敗した

職能と於て著した

在一方。以下四十五篇の人情報方を過程。「以上中四十五篇の人情報方を過程」には、他元の時間と終し光

表彰式を午後一時年より本計別館

院とうてもこの辿り元祭をと田

ればその側柱自動の役割の場合線 の前の軽人の対象の中に割しく高 こっていうたともいべる、を たっの繁都で知名の十の回に続く たっの繁都で知名の十の回に続く

皆んな喜んで働

。 尾ノ道から蓮々死滅したのだが、 助公郎の召姫ひとなるべく記憶域 が明治廿六年士二月だつた、林福

の近しい考は「人もなく女といふで、親女は空間 数の 大瀬宮 古ややを定名のといて実際」「神経を指むて参照し、知慣米 多の 全戦とで節り兵士の推移に振げて で、題がして朝い、節じれた約11つ。 を記し、動して相談の展現が維持に見る れた、大阪市の「ケ年間はたから

学品與民を活きをお手本で引き

ま治 関カセー関効 節エス・英

炎スイ炎

は十八年度から始められた新計監

も思ふやうにならなかつた、

です。

総つも能つも新らてきて本人をび つくりさせた、こそれがあんたね

は、大きな大きない。大きな大きない。大きな大きないが、大きないない。大きないない。大きないない、大きないない。大きないない。大きないないない。大きないないない。大きないないない。大きないない。大きないない。大きないない。大きないないない。大きないないない。

たちに観響された、探げ後した起場時があつえればごろは出のあの頭かしい歌謡も生れた。 『今時の不自由や主味は何でもない』と行時の婦人想認証のは引じついて京場四回時川歌で寺場内に本居智大能を登む田中カツさんさしにさく

で 不自由だの、 症物が 改成素 だのと でうに 配給が 不固能 だの、 風呂が の、 風呂が

ii目と 京風に留る 兵士はみ事

蒙直進前區區區

(5)

★日降の役に原城の花街では
・ 日降の役に原城の花街では

を原本職等にも数十名が課記して あた、監験の別器を取され、大職の 次即さんな、自職しい活題を終け 大いの選出来を付むりの影響が人 での選出来を付むりの影響が人

大きない。
 大きないない。
 大きない。
 大きない。

と興齢を並べて、午後三時表彰式の刑待に添かべく努めます。

の明報にようて放着された

なほ衆知君の観察信任品『僕の
「大き衆田君の観察信任品』(戦の
「大き衆田君の関係信息」(戦の
「大き衆田君の関係信息」(戦の
「大き衆田君の関係信息」(戦の
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によって放着された」」
「大き衆田君の関係によって放着された」
「大き衆田君の関係によってない。」
「大き衆田君の関係によってない。」
「大き衆田君の関係によってない。」
「大き衆田君の関係によってない。」
「大き衆田君の関係によってない。」
「大き衆田君の関係によってないる」
「大き衆田君の関係によってないる」
「大き衆田君の関係によってないる」
「大き衆田君の関係によってないる」」
「大き衆田君の関係によってないる」」
「大き衆田君の関係によってないる」」
「大き衆田君の関係によってないる」
「大き衆田君の見」」
「大き衆田君の見」
「大き衆田君の見」」
「大き衆田君の見」」
「大き衆田君の見」
「大き衆田君の見」」
「大き衆田君の見」」
「大き衆田君の見」
「大き衆田君の見」」
「大き衆田君の見」
「大き衆田君の見」」
「大き衆田君の見」
「大き衆

ケ月、緊切一週間の治院を要する 魔半分大磯し姚客十一名に重陽一の三三八號に『炎、一九號の単

牛局化

161

百姓

0)

お手本

H E CH

内地の嚮導農家、けふ來城

いて概念することを申合せた

(要さらの神名を目下東朝へ中でありい方法として発來の接続が消ぎ、(事が無月打五三ノ二、宮太郎) 生胎歴史の強武両上を暗る目がら、伝行を聴して内里の情報家を会部にいた事が無月打五三ノ二、宮太郎 生胎歴史の強武両上を暗る目がら、伝行を聴して内里の情報家を全部にいるという。(事を見けせた、郷路程では強戦手)

決蔵を示してこれに答へ、平田

を解くとパサツと流がして相東が日田中さんが着換へようとして構

に布を取って敷を防ぐ背勢もあっ

腕き通した

爆笑風歳大 會

院生家集

1、三八〇巻)

順議警後を新設せんとする向は必ず 一段國際無電へ問合せる事・ 一段國際無線電化研究社無線部・ 一段國際無線電化研究社無線部・ 一段國際無線電化研究社無線部・ 一段國際無線電化研究社無線部・ 一段國際無線部・ 一段國際上版。 一方で表現。 一方で表現。 一句で、 一句で 勝ち抜くために の最後 で、最後 で、最後 館畫映信和 館 花 浪

決齊 | 勝獨

六兵 四号 号号

場劇洋東

は、 なさ」、図書の書である。 なさ」、図書の書である。 なさ」、図書の書である。 だって、の書の書である。 でいる。 でい。 でいる。 が一体のである。 で見たとうえが がで見ないまする人 難に悩む人 難に悩む人 がまないまする人 関係を 食

日本ニュースという。

場劇南城

座富新

場劇花桃

窓内水銀高機能の一元的総合をあって予める動態に、晩報の姉く総一かくて多年の概念でありを生は水の場合でありを生は水の場合である。

四月から新機構下に發足

半島水產新體制

他に肝療技管、十八日臨時制度 会開他して皮膚に伴え定験傾近 時間を加工、石炭がその他を 時間を加工、石炭がその他を 対域、さらに協和十一年以来 は水純菜の塩麦とその30亩を大 にした油脂脂も十日委員會並と 野ば、大人工作品が大人工作。

文は避見、マグネ部門に於ては無水層化マグネ線道の技

| 「一般なおり、本年 | 万宝大 | のなどに表現するが、他自図家の | 理念はなるの為 | 第三に物語およう第7と前肢とその影響がの態に対しない。これまれる。 「のなどに表現するが、他自図家の | 理念ははくっていません。 「のなどに表現するが、 「のなどになく、 よびに構え続のつも

至上命令とる威力均能のための総

土土年度間で可得の総置は大百

の眼界が見えるが、資金は必要さ

た 一部的使用動う応奏の始離に変める で 現た物語や労力を剝続する原因と 一脚 で 要な物語や労力を剝続する原因と 一脚

従って、協金の傲得が大きげれ

商語資金に形置するために貯蓄せ

期間中は漢で金、金銭信託、 漫画に買って全年的に吸聞され、他の『陪談観力登壇廻順』が約三

ねばならぬのであって、これがた それ行し、陸公園と思想し、

によるものである。

の期における十九年度の生地域一が、「際にたっては、現を域上の絶対しておりてある・ てきがい。対策が対策が関内に関心であれるしてきがい。 「では、日本の主義

ゆる艱苦を克服

國民生活を徹底的に切下げよ

家庭範囲に於ける機械の結絡は巡

してあるので、職工局は遊休示

物意物連密膜と医療混革するはずしなったく明年度の生理記載に基いて真異から教養

から新規機によって観足すること

度を加へこれが打

重要機械に

統制令

忌速に産業面へ轉用

置を無いであたところ近く物質調|艦杆の三畝措置によって難く實現

(MB)

5

をあることは留 ◆…

石油もまた思ひ切った大将軍計

取扱ひにおいては 重點 産業と ◇… は入つてゐないがしかし数級の

より三関ではつた。 かまか 田と紙の頂側を入りて、随方山・一近代域とおいて、地田を 田と紙の頂側を入りて、随方山・瀬井

◎油園であり、石油輸出園としてのラヤブな影響な米度石油等

暖と療に 原省支 调

米、ベネズエラを狙ふ

航空戦へ石油も作れ、送れ

所で緊油してゐた

は米側の連出を支持してある模

しから、ベネズエラ政府

用心のほどの時に 一回・三回・五

様で、今後ペネズエラの石

四十六周國の増加である、何この

所の端加(單位千回)(イ)各品(一) 取力増退に不可味なる的

部分を監領西印度諸島に送って

重要工場、事業場 管理令を施行 産業機動體制を確立

本東東東北の民民主義都を開化するため、東上中の世帯別名を発育と次版と活用中のクセが、この帰る面内に長さるためであった。 でいたが際には独立が出り変更するとのようなが、一方が説、物味・の味・かまでの 取る形を出て、独文をは能での他の助 高文、たが、原とは独立が出り変更するものようなが、一方が説、物味・の味・かまで、現るがは能を包切して来り、彼って中央 でいたが際には独立が出り変更するものようなが、一方が説、物味・の味・原味をご覧がに関いていました。彼って中央 でいたが際とは独立が出ります。といなり、東上中の世帯別名を発育さな版と、国際では、原本の地で、親をない観光での他の助 ことで、他ですることになり、東上中の世帯別名を発育さな版と、一方であったが、同志の著目と特が教育の世帯地及び観光工

天然物より除外、日郷顕彰及び窓一覧街道際田部馬側の側離販を史詞 野セメントの折学出資による資本 新世、大々的開發に 新手すること 第三百萬伽の帰洞頭翼株式商社を

甘葉が危大であればめるほど、で生産されてあるので、軍政と は大きな、高部が大ければ飛べ、によって明かに江うを監は、 といのは富然で、航空器の生産。第二に石連は建設治下の解方 第二に石連は建設治下の解方

を阻害するといふぞうなことは を阻害するといふぞうなことは 産業に入らないために、資材、動 と一産業に入らないために、資材、動

歌歌と歌へる、アメリカにとう 國統和の警戒とよって瞬間に記述は、 を通りの成果を収めてあるとと でとく、蜀郷にとうてはルーマ が明かはくれた

◆……べネズエラの石油に対す。 源を譲って、米売石油業者間の ◆……ベネズエラの石油に対す。 源を源はいよく、源化するもの

第三版が南方油田を組みこと、二マの油田が、フ酸にとっては、今…… 常雄の戦するところによ網新にない

しいものがある

付及び大引とも前径指を辿して第一

二工場へ派遣

路標左の延し

ダツテ石油質肚の活躍が目覚ま

際衙門印度は英國の最大石油供

結ぶとなってあた

輕命屬、車輛、機械、造船の五重點産業を對象とし、その内造船は同分施行と同時に第一層だは四月一日を期し 除さるつて管理令を施行する方式でに簡素を選出のとざいりぬくず鐵鍋、 次化用定とすることへなった。各種報題工場の監督、認識に語る問題的は、意思関係のため工法、富文分化思議の設備をして無法せしめる 南部間の総合問題をしてに一度客

生産責任者を全面的に徴用

馬洞鑛業新設

海上転送力増強の緊急方様の展

では、 のでは、 のでは、

| 広年度次00番電話であるため、 | 「京城、でも、山黄・ル | 「京城、でも、山黄・ル | 「東城、でも、山黄・ | 「東城、でも、山黄・ | 「東城、でも、山黄・ | 「東城、で、東城・ で | 東海 | 「東城、で、東城・ で | 東海 | 「東城、で、東城・ で | 東海 | 「東城、で も、山黄・ | 東海 | 「東城、で も、山黄・ | 東海 | 「東城、で | 東京 | 「東城、で も、山黄・ | 東海 | 「東海 | 「東南 | 「東海 | 「東海

「別にの新頭に、貯蔵の南頭に面型
 「おで加えた。 「のの新頭に、貯蔵の南頭に面型
 「日本の間で、前年度の減低時候別
 「日本の間で、前年度の減低時候別
 「日本の間で、前年度の減低時候別
 「日本の間で、前年度の減低時候別
 「日本の間で、前年度の減低時候別
 「日本の間で、前年度の減低時候別
 「日本の間で、前年度の減低時候別
 「日本の新頭に面型
 「日本の新国に面型
 「日本の新国に面型
 「日本の新国

百世七萬國、合計六千世五萬國

見るはずである

「リスポン八日同盟」オークラン新西」関軍司令官重傷

船舶統制會の機能整備

機

運航高度化

を抑し後足した射能の小型音影響等的現地影響を目途として本年氏

翻解影響市の受話と共に開節版一すべきに非ずと地質的はじめ間係

製、日本マグネ、諸川工作新一区決した製、日本マグネ、諸川工作新一区決した

億九千餘萬圓

質に練制のとれためて日本軍と戦う

遞信局十九年度豫算

六五人保険物第一強附金の地 外に特定或便局が終その他の

新路,朝陽戲雜、東洋輕金蹈、

関係機械、朝鮮州併、研修石油|技楽庫、土葬汽運際の第一回は

商周波、小林新穗、莲仙幽翠、

方面も自信を得て建設に巡回しつ

小型爐の日統向上

京歌画館に帰民の國家社を附近し、同会総局の親少とするところな作。 して生物とは流にが超音者の主要なるとあり、他の大きながあって地域を生まって強い場合という。 世界の生態性にあれる。 世界の大きなの、一般に参加するとめ、「一般に参加するとの、「一般に対対と、関連、「一方」と、一般に参加するとの、「一般に対対して、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、対し、対し、対し、一

の物質が影響的低性であることはいみまでもない、概米は一九でして航空観の地震を一る像にはその主要構成流域を多数金融 | 「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、

が回転金融第二次 を全部にが足する とは至ってのない しから 朝鮮な わ

| 三年第四四干池にノルミ年岡日十一〇四八十条曜の水渓に遠 「東郷を北野に田用する紫色で開墾石、関石、平東及び夏文、生 「大りようをおわが関のアルミ工業は五年第 「対別することが大切である」 で変える形は同の様子可提の権利に対象を 「対別することが大切である」 「関石、平東及び夏文、生 「別することが大切である」

る個が魅力団と振する既畠いの像士員点の組織的活用にお続て ま行さない、 従って、この認動網はあらゆる他調を立度し起調 を許さない、 従って、この認動網はあらゆる他調を立度し起調 を許さない、 従って、この認動網にあらゆる他調を立度し起調

航空機増産の至上命令 限られた原料、資材に

ークス化とか、その他にいま一般の創意・天を練らればいかというにはなったであって、との他にいました。 と対ないからそのうちに北芝恵は湖池のビッチ及びメールの織りがなったのでは、ままなは湖池のビッチ及びメールの織りがなったのでは、ままなは、海池の地域があった。 **添であるし、頭にアルミ、マグネ工窓に重要なる問題の自治感がして無水の際化マグネシウム認道の接続記述成が個層の納除日ごで無水の際化マグネシウム認道の接続記述成が個層の納度して、マグネサイ、職の機圏形指荷と**

側方朝鮮のアルミ工業が北交の郷土自岩文は南方のボーキサ

響師を認び、難んで後にとれを奨解するとによる地面へ審地する の場間能が能力とを選出し、もうて乗られた。これは、第の様性を影響者、般 なの項間能が能力とかか、これは、第の様性を影響者、般 を対象者、或は技術者、7般間底の何れらお力を含はせ進し、 のできた原料。或な、例力等の現基礎 のできた原料。或な、例力等の現基礎 のできた原料。或な、例力等の現基で のできた。 生産するにはボーキサイト或は藤田良岩が五郎、氷龍石が海百人というとうできます。 は四キロ、 五十キロ、このが副石の原料をる銀石 卵化アルミニナキロ、

三部部合は先つ「軽なばの権政から結束る」とを専に高れる勿れを強する群りを受くるも無明の総地はある家い、簡結機物能の成を選手とは、 簡単語のはを選続し、 又は国際するが派きるのがありとせば、 國際計畫 若し萬一にも洞智な日戦を設け、政策階で独立して東古領の道でもの事を極めて家がに持くて喜故を超すなどいふことである 後的に協力することにより明鮮の際金製地はいふに及ばず、全國民が懸金融地震の指 特に弦談差者の汪斌を吸起したいのは、複数が馴れるにつれ

新防禦戰法奏功

【ベルリン八日同盟】米京航空際

別線を受けた海殻部設を加へて
が地、ランク(カルカツタ四)
た例十キロ)でジャングル版の
が四十キロ)でジャングル版の

獨米大空中戰

おいて攻略を加へて來たが失敗

リボイ・ログ西方ではドイツ軍リボイ・ログ西方ではドイツ軍即地線内に突入した省カ京軍部域を派遣総行中であるクリボイ・ログ西南方ではド

に赤垣戦車三百五十七系台を修

、スモレンスタ、オルシャ自助 レジナ河とドニェブル河の

| 対応を行びつくめるものが相当に | 域形を行びつくめるものが相当に

し、半局は未だ護師の新設又はのと観測されてあるが、これに の部の政金の常度が多額による。内の際によって設備資金よりもの

本の一般をおりません。 一般的に対していません。 大学の一般などのでは、 大学の一などのでは、 大学の一般などのでは、 大学のでは、 大学の一ななどのでは、 大学の一なないでは、 大学の一なないでは、 大学のでは、 大学

行けば必ずや目標を造成するもの

であるから、新年度もこの意象で

のゆる観音を原展してこれを成し窓。 呼が終め必要であることを残らは、

には成力境頭の根底となる貯蓄地

敵光英との決議を勝ち扱くため

二月中に自標を突接してある監告

憲ピようで震聴型率よりも ある、脳を第一と多数の影響が臓 を説がし、対象が至端型工事 がとかく戦かずられやすい心能が 一家だが、、対象が至端型工事 がとかく戦かずられやすい心能が 一家大きいはと歌思的に統金の効率

前年に比し五間増加を見込んであ

八日の店園観測委員會で正式決定年度の登録を勘察して十八億回と

E 等々をめざして崇称な貯蓄が受け い 許認金の歴史、庇治家の道人信題 の 許認金の歴史、庇治家の道人信題

半局の十九年度院管目標額は前 め國民生活の極民的切下げが製献

> マイ・コン・エーロ回盟」ドイツ版は「は東郷歌級の娘がどうえ八日次の様は東郷歌師歌畑県の歌談とう。 何り後妻した。 マリホイ・コン・ロースの のりを妻した。 マリン・エースの は、 ア・コン・エースの は、 ア・コン 南部赤軍の攻撃完封

砂点部隊は協約した赤里部隊お押して超出をつづけたドイツ軍 イツ母は赤田の国副を抵抗をナルバでは反戦性戦闘中の

することは出来ないが)を採用す ・南部地區における赤面の攻勢は

・ はいとなっています。 ・ はいとなっています。 ・ にいるのでは、「のかのでは、「いっている」。 ・ にいるのでは、「のかのでは、「いっている」。 ・ にいるのでは、「のかのでは、「いっている」。 ・ にいるのでは、「のかのでは、「いっている」。 ・ にいるのでは、「のかのでは、「いっている」。 ・ にいるのでは、「のかのでは、「いっている」。 ・ にいるのでは、「いっている」。 ・ にいるのでは、「いっている。 ・ にいるのでは、 ・ にいる。

敷料であります。何楽和談水頭ひます。 失をなし、原告則も報道間と

日より夕刊休止

明七

郷に殿と明十日より夕刊の發行を休止することにしまし郷に成立えき教であります。成づて本社は自政府設定とよる総裁非額制製 戦局の窓道に伴ひ、新聞用紙の消費も遠大阪に御約し、以て取力順に軍需輸業力の た。徐朝刊は四頁(月曜、木曜二百〇と)識・最影響を出

は、住人自由級ペルリン市の場響を心 は、住人自由級ペルリン市の場響を心 は、自由の中級、指導人員十二百名を のが見ず、極端な遺跡を行う人自中 を、後端医生存力な態態度の直信の 身に比地線に分れて、マシンダ 政場があるアイツ本土工をに至べ の対 會聞新鮮朝•社報日城京

RE ADVISOR MENTAL MANAGEMENT AND ADVISOR MANA





間上でよる子三百九十五五回と一尊計で二千八十二萬回、舎計三千 増加の主なるものは道信料金の 「萬國、朝鮮開保及ご院便手金時期 米機八十を撃墜

獨空軍伯林空襲企圖を粉碎

武裝船士二擊沈

日同盟と続続大本舎は

第千ツペンパーガーが削級で重傷をニュージトランド第二師贈長少

結構

ヘアベルクリン反應・マントウ氏反應

有馬・斉山・太經 三雄士副殿

一般に振数されてる

適担フレーサーは一ランド)來電=ニ

は駆闘である。なほドイツ田智品

米機殊態企副は失敗に賭した旨徒

とするわが一般がなる。作職によっぱ七日後、シンゼイワ命地を中心 トバツテンが加河にこの部隊に別のなる機成の部隊が、またマウン 【ビルマ前線OO基地村川報道班 一般を火火の大きの大きの大きの大力 最初コルベツト中将であつたがバンジャプ五である。即副長は 「リスポン八日同盟」ぐ

(解說贈呈)

への使用中にはつベルノリン反脳を報ぎ、 ・ 原度保質、潜伏結核、集体の結核と ・ 原度保質、 實證 龙龙 酸症

来與高頭猫二 一 **丁商**男

工店的

性疾感、パセドウ氏病、中状験を関係を表している。

此場合▲・0は發病防止に最適の免疫刺なり。(保草期治療)等の徴候あるものは特に結核發病の前階段とみるべし。等の徴候あるものは特に結核發病の前階段とみるべし。で減少。得要。除鬱。寒胃解。疲勞感。神経衰弱。微熱で緩。偏食。臓器微質(頭壁よりは驚熱器壁を制に注影)顔面茶白。食熱不緩。偏食。

月級體

期待し得と。然も高單位製劑により初めてその効果を、然とに由來する處大なりと推定せらる。 は乏に由來する處大なりと推定せらる。 をした。 一本解は强力高単位のV・B網にして鍵 では、 で表の保護・持線及び神経細胞の域 本解は强力高単位のV・B網にして鍵 其の他の意態不振、胃膈脈力症、 乳時の築養補給にもノ

一般中〇・五字が 46 可修道市限大,社會式標業工品藥田武 元宣教造製

V·加含有體質法特許

か本紙を切取り症状に即をつび 今津州究所へ選ぶすく行

心の末心の末

中風高 原因を明に上 今津博士の素晴しい研

血壓·神經痛 à

不

定期旅客運賃

は三幕以

內

次は指数氏に寄せて來えその四頭 公に一だんの権身を譲つてある。

は一瞬側知らせまで

況印

を描ふところだつた。好像は続じ

る。関を懸するの至威

株現の

はちゃんと習つた。優はその年嫁

そば、日本はどんなことがあって

まずよ。優にはむつかしい

いやが上でも別とし

何をぐづついてあるん

やしつけてやればい

表別が在世帯に消勵致して居り(前略)小牛等一同お概を以て

23 (同心性大気在根)は欧然と一般に関び際反の試験を久を励めし、 の場所積減的九七等が徹氏長島河一れら上宮殿友のお塚だとと戦物の一人 懲生店が約35克しき記を慰の疎認からその息兵の いか内緒一版の型関連語

高級興行の閉出し感々本極り

「子キロ道の銀車では別

のうち、ス集制三関や子の海、回動脚の脚をまさまる北峡門積を加えれた、絵芸芸様が景楽四、カ、紫作町町の船に、布岡者の球船部部の路が大きれた。

五、別行許可に借りてる連絡別行位五日以

開行副側の同一場間におけ

別が財団を仁後一時、夜町到行体 後六時以後とし、上海即本は

展示が出身、現在質視高工の筋師 は一年年網度に切入側、昨年は特別を教得した加齢で新知り下は、至ってあるが、年度に戻する後間、比較認識に明れの原館で引令はし、関島等の復興となって今日に決能認識に

軍司令官置に輝く加納氏談

郷で今次単司令官公に近を結んだでは北受方面に沿回、薄い麒麟を

御下賜品

[2]

遺族

けふ府廳で晴れの傳達式

検関をなざず上演 鉄道に於て之を抑惜し京畿道に、上演闢本の検問は惟分の間京

0

識

話產士長次牛簡

と持つ外はありま

作品は次の加り の類々(音服監異)クリ 取り(音服監異)クリ **「服ご男)々大東市が設** ・西頭々り腕剣々り裾

の渡 元 素

に村漁農に揚工 に庭家

腹八分目の心構へ

のの可能が大人の意とない。 ころである、難やかな態度を開催 つの可るい実向と手は関節になっ った機能が関係が可じたいへは いへ決して影響や不満を作っては

れたが、ほどの一百五十

焼歩 (

一九〇〇年初頭にドイツのフォイ根 撮 もばは的抵限もなく、

増産よりまづ節約

トやルプネルによっている出され

よしに切大を物

力戦な派立はせか活

致行すれば一年で二百五十萬行の もし今で間にが1日1年の間約を

を得せしめることこそ地質管理を得せしめることこそ地質管理

、特が心を合せてや

察告をへた統領道の成果を築材すり、原生々他らが年

と戦争に必要なものを食る時は決してこれらを

るが南であるが、増階がいく

銃劍道大會

度、器部から議論が持ちがけ

前のせいか、六時を二寸過ぎ 郷治川自るうにげらくと笑 たやうに、一隅に抑默ってゐ れると、その男は身をおこし、

えであるらしかった。 どこで除

陸軍、烈しい決戦の3 皇國を渡りついける 皇國を渡りついける

念中に迎くる

は製作の意象大なりとし、このく構能着手の劇映所「脳の山」を超劇して朝眺が東海と提展社 1 阿本 やす 一川 阿本 やすー 小家せるわが夫のた 外家せるわが夫のた 門起婦公を 一門 松波 和也 開 松波 和也 がいく全部図が出 がある。全次常に やある。全次常に やある。

(上映中) 應へよの態度 軍 記 念 医陸 軍 記 念

決戦のさ中に迎へる

所谓と風爆へ スーユニ本日よ

明若京 大中京城雪塚劇 場場場場場

に関うて関立、耐障を上に関うて関立、耐障を上に関うて関立、耐障を上に対から出を映影するかたはら、半に関するがたばら、半に関するがたばら、半に関するがたばら、半に関するがあります。 つて原原、顧問をと簡易、お土殖間を誤った

半島労務者は大持て 打 た好評だ、全く以前とは一時した好評だ、全く以前とは一時で

同次年から 郷文整線線画と 風然・少を問め、同十三年から十五年まで、昭和四、五年・著別に留を除る。 河となって半崎になくも著佚な地東京都出身、現在京儀話ごの旅師。 は一昨年線形に切入地、昨年は特里の

一四個元明ニノニニの自宅で同形は

決願美術展第三部、審查委員出品 決戰美術展 查委員出品 第一部の審

野日日尚日填填昭不周日原東洋倉帝庁富富铭 海鎮 糖 和二 清条至洋倉 市上士士 居工新業縣新陵電越本工紡額新新新倉額紡楠 財

やのおやおは、京た、 のおやおは、京た、耐敵を相手と関係利を客に著出し、おでん

り】別項維告の通りりの後に引齢き角戦ので、現との小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作の小説・李無能氏作 能短信







WYEN ME









とうとする大海道の 展配十個の思想をい、自 原放の監報をいらした。



対部市向独行関係を能か見り多い部別 流鶴湖の構成を印茶化

行等級別に通行税

十錢九厘、二等六錢八厘五毛、 キロ以下の時は二銭八里)

NO、成第二八・〇〇、高脚二・ NO、城第二八・〇〇、高脚二・

十二百杆以上は免税

來月一日から旅客運賃値上け

指導性に乏しきものである。 離交なる

强盗殺人犯; 用

麗し戦友愛の發露 學兵の家庭へ温い便り ひ職人松本既職さん宝の及び回家 さん(こ)方の留守宅で留守居の配近い初着町1111日中で戦演れ国邸 療など変敗の調温液人事一般教され、現金三千六百 開出にようて所継 態酸さん(1)との所名が 醫、公朝

● 日服務に動んであますから何卒 気旺盛にて皇軍の一員として毎 気田盛にて皇軍の一員として毎

の空間ではないのだ。

際品の比較者は、何

等。 等可 整理急ぎ で 理想ぎ

小 服 工程 明寄 引寄

山四省風陵世の音 昭和十三年七月廿 としての 正確さに

体で記 必ざんを一つ 増せ上庁 機出す為に 無敵皇軍

黄金町朝取二階 電話 本局②一個七六・八三八十八三八九・八三八九

時には、やる。感じでやる。やり

つしてやればいくのに

るの自随の類をは

應

(V)

[9]

鄭玄雄(繪)

子供は母乳で強く育で母乳確保

医学博士 中橋幸馬 西小門町四一 電話光②1960